



2025年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月15日

上場会社名 株式会社ノダ 上場取引所 東
コード番号 7879 URL <https://www.noda-co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 励
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 良知 正啓 TEL 03-5687-6222
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第3四半期の連結業績(2024年12月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第3四半期	47,348	△4.0	3	△99.5	△25	—	△472	—
2024年11月期第3四半期	49,305	△7.8	689	△80.4	734	△80.1	△1,936	—

(注) 包括利益 2025年11月期第3四半期 344百万円(—%) 2024年11月期第3四半期 △1,088百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第3四半期	△30.15	—
2024年11月期第3四半期	△122.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年11月期第3四半期	72,398	38,520	45.8	2,117.08
2024年11月期	74,182	38,922	45.2	2,140.40

(参考) 自己資本 2025年11月期第3四半期 33,144百万円 2024年11月期 33,509百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	22.50	—	20.00	42.50
2025年11月期	—	18.00	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	—	—	15.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月1日～2025年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	63,500	△5.3	0	△100.0	0	△100.0	△600	△38.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名)株式会社アリモト工業、除外 1社(社名)
(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年11月期3Q	17,339,200株	2024年11月期	17,339,200株
② 期末自己株式数	2025年11月期3Q	1,683,586株	2024年11月期	1,683,586株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年11月期3Q	15,655,614株	2024年11月期3Q	15,857,795株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結範囲の重要な変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年12月1日～2025年8月31日)におけるわが国経済は、物価上昇の影響などから個人消費に弱さが見られたものの、雇用・所得環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、深刻化する人手不足、不安定な為替相場、米国の対外政策の動向、地政学リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

住宅業界では、建築費高騰や職人不足などの影響から需要の低迷が続きました。新設住宅着工戸数は、期初から低水準で推移するなか、2025年4月1日施行の法改正(建築基準法、建築物省エネ法)に伴う駆け込み着工の反動減や建築確認審査の遅れにより4月以降は大幅減となり、当第3四半期連結累計期間では総戸数7.5%減、比較的堅調に推移していた貸家も5.1%減(木造の貸家は0.7%増)となりました。また、合板については本格的な荷動きの回復には至らなかったものの、国産針葉樹合板の販売価格は、前期までの下げ局面から期初を底に緩やかに値戻しが進みました。

このような厳しい事業環境において当社グループは、内装建材シリーズ「カナエル」や構造用面材「HBW」などの拡販に注力し、新規顧客の獲得や既存顧客との取引深耕を図りました。また、合板やMDF(中質繊維板)など素材については、引き続き需要動向を注視しながら仕入・生産を行い、コストに見合った適正な販売価格の設定に努めました。さらに、原材料や製造工程の見直し、配送効率の向上、固定費のコントロールなどコストダウンや生産性向上の徹底に取り組みました。しかしながら、長引く住宅需要の低迷により販売量が伸び悩むなか、原材料・副資材価格、物流費、電力料などの上昇もしくは高止まりに加え、合板の販売価格が前年同期を大幅に下回ったことから、収益性は著しく低下いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高47,348百万円(前年同期比4.0%減)、営業利益3百万円(前年同期比99.5%減)、経常損失25百万円(前年同期は経常利益734百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失472百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,936百万円)となりました。

◇セグメント別の状況

〔木質建材事業〕

木質建材については、省施工、高意匠、バリアフリーなどお客様の多様なニーズにお応えすべく、内装建材シリーズ「カナエル」を主軸とした販売に引き続き注力いたしました。また、木造集合住宅等における生活音対策として、軽量・重量いずれの床衝撃音も低減する木造遮音・防火工法「シャーオン」の提案を強化し、材工(施工付き販売)の拡大や防音フロアの拡販を図りました。MDFについては、2025年4月施行の改正建築基準法等による建築物の省エネ化や構造計算に関する規制強化を踏まえ、各種セミナーの開催等により耐震性能や透湿性能に優れた「HBW」(構造用ハイベストウッド)の提案に引き続き注力いたしました。さらに、第1四半期連結会計期間より連結範囲に含めた㈱アリモト工業との営業・施工分野でのさらなる連携強化を図りました。

これらの取り組みによって、新築戸建市場におけるシェア拡大に加え、貸家市場やリフォーム・リノベーション市場、高齢者施設や公共・商業施設など非住宅市場のさらなる開拓を推進いたしました。

この結果、木質建材事業の売上高は29,238百万円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益は500百万円(前年同期はセグメント損失43百万円)となりました。

〔合板事業〕

国内需要が依然として弱含みで推移するなか、国産針葉樹合板・輸入南洋材合板のいずれも販売量の本格的な回復には至らず、当第3四半期連結累計期間の平均販売価格は前年同期を下回りました。

国産針葉樹合板については、前期まで約2年にわたり販売価格の下落が続いていましたが、引き続き生産調整を行い適正な在庫水準の維持と販売価格の設定に努めた結果、当期の第1四半期には販売価格が底を打ち、緩やかな上昇傾向に転じました。しかし、実需不足が続くなか、期が進むにつれ販売価格は徐々に横ばいとなりました。また、輸入南洋材合板については、需要の低迷により仕入コスト高を販売価格に転嫁できず、低採算の厳しい状況が続きました。

この結果、合板事業の売上高は18,110百万円(前年同期比9.0%減)、セグメント利益は672百万円(前年同期比66.9%減)となりました。

〈セグメント別売上高及び損益〉

	売上高(百万円)	セグメント損益 (百万円)		前年同期比 (%)
		前年同期比 (%)	構成比(%)	
木質建材事業 ※1	29,238	△0.5	61.8	—
合板事業	18,110	△9.0	38.2	△66.9
調整額 ※2	—	—	—	—
合計	47,348	△4.0	100.0	△99.5

※1 前連結会計年度まで非連結子会社だった株式会社アリモト工業を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含め、それに伴いセグメント名称を従来の「住宅建材事業」から変更しました。

※2 セグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(2) 財政状態に関する説明

◇資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は72,398百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,784百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少2,137百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少2,015百万円、製品の増加637百万円、仕掛品の増加154百万円、原材料及び貯蔵品の増加144百万円、機械装置など有形固定資産の増加1,225百万円、投資有価証券の増加288百万円などによるものです。

負債は33,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,382百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少972百万円、短期借入金の増加600百万円、未払金の減少342百万円、設備関係支払手形の減少1,524百万円、長期借入金の増加1,126百万円などによるものです。

純資産は38,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ402百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少472百万円及び配当による利益剰余金の減少594百万円、その他有価証券評価差額金の増加649百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2025年11月期の通期連結業績予想を修正しております。内容等の詳細につきましては当該資料をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,137,964	20,000,822
受取手形、売掛金及び契約資産	12,832,878	10,817,514
製品	6,662,501	7,300,157
仕掛品	1,385,413	1,539,925
原材料及び貯蔵品	2,943,175	3,087,784
その他	1,218,251	1,009,760
流動資産合計	47,180,184	43,755,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,418,600	5,435,922
機械装置及び運搬具（純額）	3,488,324	5,002,703
工具、器具及び備品（純額）	355,401	308,169
土地	6,248,679	6,214,040
立木	123,119	123,119
リース資産（純額）	421,437	441,943
建設仮勘定	506,115	261,293
有形固定資産合計	16,561,678	17,787,192
無形固定資産		
のれん	-	50,871
その他	349,984	326,935
無形固定資産合計	349,984	377,806
投資その他の資産		
投資有価証券	9,302,231	9,591,112
繰延税金資産	22,790	50,986
その他	767,461	837,048
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	10,090,483	10,477,147
固定資産合計	27,002,146	28,642,147
資産合計	74,182,330	72,398,112

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,800,885	10,828,578
短期借入金	7,204,636	7,804,712
未払金	1,905,822	1,563,588
賞与引当金	-	441,835
未払法人税等	95,400	57,873
設備関係支払手形	2,637,035	1,112,600
その他	1,891,312	894,424
流動負債合計	25,535,092	22,703,614
固定負債		
長期借入金	2,497,280	3,623,480
リース債務	392,141	377,183
環境対策引当金	10,762	10,085
長期未払金	44,860	94,360
役員退職慰労引当金	-	11,891
退職給付に係る負債	5,867,678	5,744,615
繰延税金負債	901,566	1,301,973
その他	10,750	10,750
固定負債合計	9,725,039	11,174,338
負債合計	35,260,132	33,877,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	28,705,197	27,645,947
自己株式	△1,174,189	△1,174,189
株主資本合計	31,259,830	30,200,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,049,710	2,698,851
繰延ヘッジ損益	△1,978	2,281
為替換算調整勘定	547,617	520,309
退職給付に係る調整累計額	△345,837	△277,865
その他の包括利益累計額合計	2,249,512	2,943,577
非支配株主持分	5,412,855	5,376,002
純資産合計	38,922,198	38,520,159
負債純資産合計	74,182,330	72,398,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
売上高	49,305,603	47,348,873
売上原価	38,952,330	37,708,454
売上総利益	10,353,272	9,640,419
販売費及び一般管理費	9,663,674	9,636,849
営業利益	689,598	3,570
営業外収益		
受取利息	2,379	19,095
受取配当金	106,291	154,870
受取保険金	73	1,315
持分法による投資利益	16,138	-
その他	59,214	74,817
営業外収益合計	184,097	250,097
営業外費用		
支払利息	62,743	102,243
売上債権売却損	32,431	46,219
為替差損	14,098	17,098
持分法による投資損失	-	102,783
その他	29,671	10,722
営業外費用合計	138,945	279,068
経常利益又は経常損失(△)	734,751	△25,400
特別利益		
固定資産売却益	2,807	3,401
特別利益合計	2,807	3,401
特別損失		
固定資産除却損	89,827	143,641
特別損失合計	89,827	143,641
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	647,731	△165,640
法人税、住民税及び事業税	518,033	189,818
法人税等調整額	1,817,032	31,519
法人税等合計	2,335,065	221,337
四半期純損失(△)	△1,687,333	△386,978
非支配株主に帰属する四半期純利益	249,529	85,115
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,936,862	△472,093

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
四半期純損失(△)	△1,687,333	△386,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	404,320	664,897
繰延ヘッジ損益	△4,551	4,260
為替換算調整勘定	△72,322	△112,395
退職給付に係る調整額	53,948	67,972
持分法適用会社に対する持分相当額	217,545	106,359
その他の包括利益合計	598,940	731,093
四半期包括利益	△1,088,393	344,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,396,248	221,970
非支配株主に係る四半期包括利益	307,855	122,144

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いおよび「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社だった株式会社アリモト工業は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	木質建材事業	合板事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	29,207,790	19,909,367	49,117,157	—	49,117,157
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	188,446	—	188,446	—	188,446
顧客との契約から生じる収益	29,396,236	19,909,367	49,305,603	—	49,305,603
外部顧客への売上高	29,396,236	19,909,367	49,305,603	—	49,305,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,753,975	1,753,975	△1,753,975	—
計	29,396,236	21,663,342	51,059,578	△1,753,975	49,305,603
セグメント利益又は損失(△)	△43,514	2,030,590	1,987,076	△1,297,478	689,598

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等42,841千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に一般管理費)△1,340,319千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

3. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財又はサービスに含

めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	木質建材事業	合板事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	28,988,204	18,110,516	47,098,720	—	47,098,720
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	250,153	—	250,153	—	250,153
顧客との契約から生じる収益	29,238,357	18,110,516	47,348,873	—	47,348,873
外部顧客への売上高	29,238,357	18,110,516	47,348,873	—	47,348,873
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	1,688,148	1,688,148	△1,688,148	—
計	29,238,357	19,798,664	49,037,021	△1,688,148	47,348,873
セグメント利益	500,008	672,175	1,172,183	△1,168,613	3,570

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等151,743千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に一般管理費)△1,320,356千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

3. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財又はサービスに含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社アリモト工業を連結範囲に含めたことにより、「木質建材事業」セグメントにおいてのれんが63,245千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「住宅建材事業」としていた報告セグメントの名称を「木質建材事業」に変更しております。この変更は前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社アリモト工業を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたことによるもので、セグメント情報に与える影響は軽微であります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	1,356,534千円	1,398,131千円
のれん償却額	—	12,374